

2026. 2. 22

* 週報 *

東戸塚

No.2786 Vol.54-24

第1=9:00~10:15 第2=10:30~11:45 第3=18:00~19:00

「神は 昔から私の王 この地において 救いのみわざを行う方。
あなたは 御力をもって海を打ち破り その水の上の 竜の頭を砕
かれました。」(詩篇 74:12, 13)

<第1礼拝>

<第2礼拝>

	司 会	
前 奏	奏 楽	
頌 栄	新聖歌 6 0	一同・起立
使 徒 信 条	新聖歌 826 頁	一同・起立
聖 書 交 読	詩篇 1 4 6 : 1 ~ 1 0 (旧 1087 頁)	一 同
祈 禱		司 会 者
暗 唱 聖 句	詩篇 1 4 9 : 1、2	一 同
ワ ー シ ッ プ	御名を掲げて、Footprints	一 同
聖 書 拝 読	詩篇 7 4 : 1 ~ 2 2 (旧 1009 頁)	司 会 者
説 教	「破滅と絶望の中からの祈り」	伊東 献仁
賛 美 ・ 献 金	新聖歌 4 4 1	
主 の 祈 り	歌・新聖歌 5 4	一同・起立
頌 栄	新聖歌 6 3	一同・起立
祝 禱		伊東 献仁
報 告		

チャーチ・オブ・ゴッド 東戸塚キリスト教会

〒244-0804 横浜市戸塚区前田町 507-15

電話 045-821-2517

主任牧師:伊東献仁 牧師:伊東美穂 協力牧師:カポンボン頼基 名誉牧師:伊東宏明、伊東博子

2025年2月22日 聖日礼拝「破滅と絶望の中からの祈り」詩篇 74:1～23
「神は 昔から私の王 この地において 救いのみわざを行う方。あなたは 御力をもつて海を打ち破り その水の上の 竜の頭を砕かれました。」(詩篇 74:12, 13)

緒論

74 篇＝「共同体の嘆きの歌」

「国破れて山河あり」などととはとても言えない状態

I. 嘆き……破滅と絶望の中での祈り(1～11 節)

1. 「なぜ」という叫び……理由追及ではなく苦悶の吐露

神を信じているのに、現実が信仰と結びつかない痛み

2. 歴史的背景(BC586 年):バビロン捕囚と神殿の破壊

指導者の捕囚、礼拝の中心の喪失(Ⅱ歴代誌 36 章)旧約 814 頁

◎将来に希望を持ってない中で、「契約」に目を向けた

II. 想起……主の創造と救いの御業を思い起こす(12～17 節)

1. 創造の御業の想起

竜・レビヤタン＝混沌・暗黒・神に敵対する力……後にエジプトの象徴となる

神はそれらを砕き、光を呼び出し、秩序を与えた(創世記 1 章)

2. 救いの御業の想起(出エジプト)

海を分け、泉を開き、民を救い出した神の力を再確認

◎信仰の起死回生の足場……絶望の底で、神の過去の恵みを思い起こすこと

III. 嘆願……神の名のための救いを求める祈り(18～23 節)

1. 「思い起こしてください」「忘れないでください」との訴え

神が忘れるはずはないと知りつつ、実感としては見捨てられたように感じる

その葛藤を正直に神に差し出す祈り⇒神の名のための祈りへと変わる(21 節)

2. 新約の光の中での理解

「わたしが去って行くことは、あなたがたの益になる」(ヨハネ 16:7)

絶望の中での祈りは、聖霊によって希望の祈りへと変えられる

不正な裁判官の譬え(ルカ 18:1～8)新約 154 頁

結論:破滅の中でも祈りは届く

詩人は契約の恵みに立って、神の恵みの御業を思い起こし、神を求め始めた

神は私たちの祈りを期待している

契約の神の恵みを思い起こし、失望せず祈り続ける信仰へ